

# 診療所だより

診療所長：田川 豊秋



## 救急車が来る前に

9月9日は救急の日でした。皆さんがお読みになれるのはこの日を過ぎてからなのですが、執筆日はまだ8月ですのでこの日になぞらえて今回は救急のお話をします。

119番に電話をしてから救急車が到着するまでの時間は、全国平均で約8分30秒です。もちろん住んでいる所（＝消防署からの距離）によって大きく左右されますので、単純にこの時間を基準に考える事はできませんが、通報から救急車の到着までに出来る事は多少なりともあるはずで、外傷であれば出血部位の圧迫止血や、受傷部位の固定。内科的疾患であれば、安静体位を確保し常用薬の確認や場合によっては緊急投与など。もしも意識が無く心肺停止が疑われる時は……当然蘇生術を施さなければなりません。脳は心臓が止まって血液の供給がなくなれば、4分間で機能が失われます。心停止状態に何もしなければ、救急車が4分以内に到着しないと、たとえ救急隊の適切な処置で蘇生が得られたとしても、脳に重い障害（脳死になることも）が残ることになります。自分の住んでいる所まで救急車は何分で来てくれますか？

4分以上と答えた方は心肺蘇生術を行わないと傷病者の命を救えません。「心肺蘇生術って何やら難しそうだ」と思われるかもしれませんが、たとえ30点の方法でも何もやらない0点よりは良いに決まっています。



その30点の方法とは「胸の真ん中を一生懸命に押す」事です。傷病者が呼吸をしていないと思ったら、迷わず胸の真ん中を一生懸命押して下さい。痛さで目覚めてくれたら謝れば!?良いだけです。もちろん100点の方法を習得していただきたいのですが、誰もが必ず30点でも躊躇なく行えば助かる可能性は高くなります。

救急車が来る前に何をするかで、大切な人の命は守られるのではないのでしょうか。

## まちあいセミナー『救急車が来る前に』



町立診療所で、第5回目の田川所長によるまちあいセミナー（医療漫談）を開催し、「救急車が来る前に」をテーマに講演を行いました。

身近な人が救急車で運ばれる、そんな場面に出くわしたとき、皆さんは適切な対処ができますか？

骨折やめまい、胸の痛みなど救急車を呼ぶときの症状はさまざまですが、皆さんの行動一つで助かる命もあります。

次回から、より気軽に参加していただけるよう「まちあいセミナー」から「医療漫談」に変更し、告知端末機やポスターでお知らせしますので、町民の方はぜひ一度参加してみたいかがですか？

お問い合わせ先：町立診療所 電話・告知端末機：5-1221